



<つづやき> 5月31日

私の日記をフォローいただいている皆さん 안녕하세요?

昨晚、韓国から家内ともども無事帰国いたしました。

釜山―慶州―安東―(慶州)―ソウルと回りましたが、釜山に着いた時に現地ガイドさん(日本語の上手な45歳の韓国女性でKTXに乗るところまで3日間同行)から「ここは昨日39年ぶりに5月に30℃を超える記録的な暑さでした」と。

そして慶州、安東と連日暑さの中でのツアー。

参加者は私どものほかに大阪から釜山で合流の退職後間もない?御夫妻の4人だけでしたので、移動の車はバスではなくバンタイプでした。助手席のガイドさんの後ろに席をとることになり結果的に車中でハングルの個人レッスンが受けられるという非常にラッキーな楽しい旅となりました。

徐々に整理して日記に順次載せようと思います。

写真は帰国前夜に訪れたソウルタワーです。



<つづやき> 6月1日

<국제시장 国際市場で逢いましょう>

この映画は「王になった男」を超え韓国歴代2位の動員を記録した感動叙事詩。舞台に選ばれたのが釜山の国際市場です。写真はそのロケに使われた店です。東京では5月16日から封切られており、近いうちに見に行こうと思ってます。



<つづやき> 6月2日

今写真の整理中ですがホームページに載せるのにはまだ 2-3 週間先になりそうです。載せたらお知らせします。

今回の旅行は参加者が思ったより少なく、その上(簡単な)ハングル会話の練習も目的の一つだったのでさぬきうどんさんのコメントのように一石二鳥でした。

もう一つラッキーだったのは我々の到着前日が韓国では釈迦生誕日で

祝日のため土日月と車が渋滞し、観光地もひどく混雑して車の駐車場が一杯で離れたところに駐車して歩くことがあったとか大変だったようです。我々のツアーはどこに行っても割に空いていて楽でした。

雑談；

45歳の韓国人のガイドさんに日本語をどこで習ったのかとたずねたら、旦那の仕事でマレーシアのジョホルバル（シンガポールのそば）に5年住んでいて、いつも日本人の女性たちと一緒に籐の籠を編んだり、手仕事をしていて日本語に触れて片言の日本語がわかるようになり、その後自分で本格的に勉強し、マスターしたとのこと。

気さくな明るい女性でチャガルチ市場で개불（コムシ）を指さしてあれは犬のオ○○○○ですよ と冗談まじりに教えてくれた。

ネットで調べたら韓国では、砂地の海底で鉤状の漁具を曳いて採り、「ケブル（개불）」と称して沿岸地域で刺身のように生食したり、串焼き、ホイル焼きなどにされ、割と一般的に食される。とあります。

新慶州駅で KTX に乗る時までアテンドしてくれて、私がああ単語は忘れませんよ。と笑って別れた。

写真は釜山タワー（118m 高）からチャガルチ市場（かもめ形の屋根）と影島大橋の眺めです。



<つづやき> 6月3日

写真は釜山劇場などが建ち並ぶ映画館街（BIFF広場）へ出てくる道と1997年にビートタケシが釜山映画祭に出席した記念に製作され歩道に埋め

込まれている手形を合成したものです。

今日午前にな新宿で例の映画「国際市場で逢いましょう」を見てきました。

とても面白かったです。少しは会話もわかるところがありましたし。

主人公ドクスはどこかで見た顔と思って調べたらアクシデントカップルの

主人公、冴えない郵便局員のファンジョンミンという俳優でした。

一昨日写真載せた꽃분이네の店はもとより釜山のあちこちの風景が出てきてとても懐かしかったです。

1回目の上映だったせいか 6-7 割の入りでしたが、レディースデイでもあり男性は数えるほどしかいませんでした。



<つづやき> 6月4日

写真は海雲台(ヘウンテ)の海水浴場 すぐ近くの Paradise Hotel に宿泊、

朝食後の散歩で撮影。遠くに高層建築物の並ぶマリンシティが見えます。

砂浜では丁度砂祭り(札幌の雪祭りの砂版とのこと)の準備を始めていた。

「海雲台の恋人たち」の舞台になった場所(このドラマも途中からずっと

見てました)。ホテルの隣はカジノでしたが行きませんでした。(余裕なし)



<つづやき> 6月5日

写真は仏国寺の極楽殿の屋根裏(軒下?)にいのしし(豚?)の彫刻(飾り)があるのを2007年に初めて発見され奇しくもその年は亥年(韓国では豚)で非常に景気の良い年で子供も多くさん生まれた年だったとガイドさんから面白い話を聞きました。



<つづやき> 6月6日

説明不足でしたね。おっしゃる通り猪は額のすぐ後ろの彩色されていない(茶色の)木彫りです。

同行のお二人が慶州で見学の合間に近くの青磁の製造、販売している店(月池館といった)に寄りたいとのことで、立ち寄ることになった。

いろいろ説明を受け青磁を焼く窯もみせてもらった。

展示品(商品)は大小様々、形、模様もいろいろ。

家内がうちにもこんなものがあつたわね。そう言われて思い出したのは

25年ほど前にソウルに出張した時土産に買ったのを思い出した。
(上の写真、ヒビ(貫入)を web で調べた)

韓国の青磁の特徴は貫入と言って素地と釉(うわぐすり)の膨張率の差などによって陶磁器の釉に細かいヒビが入っている。即ち高温で素地の上で解けて一体となっていた釉は冷却の際素地より大きく収縮すると常温では釉に引っ張りの力が働き釉は切れてヒビが入る。正しくヒビの模様がある。

金額的には大したものじゃないけど(出張で高い物を買うはずはない)、以前ポルトガルの土産で買ってきた金細工の船のことを載せましたがこれも同じで昔のことを忘れていました。

同行のお二人は奥さんが茶道をやっているとのことで香炉と花瓶を買われていました。



<つづやき> 6月7日

6年程前のNHKのハングルラジオ講座でソウルタワーの「愛の錠前」について出てくる場面があり、その時初めて知ったのですが、愛を誓った恋人同士が南京錠をかけて別れることのないようにできるだけ遠くの森に向かってそのキーを投げ捨てるというシーン(別れる時にはそのキーを探し出さねばならないという話)でした。

(講座の物語は投げ捨てる前にファンにみづかり二人で逃げるのですが…)

昨日の朝日の夕刊(東京版)で日本(千葉県)にもあることを知りました。
合成写真はソウルタワーと釜山タワーの「愛の錠前」& 新聞記事です。



<つづやき> 6月8日

慶州の中心部にある広大な敷地に新羅時代の古墳23基が散在する公園
(大陵苑)。その中で一番有名で内部公開もされているのが写真の天馬塚です。

古墳からは王族の豪華な生活を物語る多数の副葬品が出土されている。
ここから出土した5~6世紀の遺物は殆どが純金製。天馬の名前の由来は
幾重にも重ねた白樺の皮に天翔ける白馬を描いた馬具が発掘されたことによる。
塚とは被葬者の身元が判明していない墓で身元が判明している古墳には
〇〇王陵とつくそうです。(因みにこの大陵苑の公園には味鄒王陵のみ)

韓国では昔から金がとれたんですかね。以下はガイドさんの話ですが、
その1

1950~1953 まで朝鮮戦争が行われた。その間釜山およびその近郊(慶州も
含めて)多くの米軍部隊が駐屯していた。そして多くの韓国人労働者も雇われて
いた。労働者が金を見つけ出さないように No touch! No touch! と言ってた
そうです。それで韓国人は金のことを No touch と呼ぶのだと思って当時
金のことを노다지(ノダジ)と呼んでいたとのこと。そして今ではこの単語は宝石類一般を
意味するとのこと。辞書で確認しました①鉾)豊かな鉾脈、②思いがけない幸運、大当たり
とあります。

釜山の港に米軍の船が着くシーン「国際市場で逢いましょう」の映画にも出てきます。

その2

大陵苑の公園にはサルスベリの木が何本か目につきました。

古墳とか昔の学問をするところには決まってサルスベリが植えてあるそうです。

サルスベリの木には皮がなく、中身を全て見せていることからこれは
儒教の訓えからきているとのこと。

蛇足；ガイドさんが「断捨離」という言葉を知らなかったので教えてあげました。

このところ年金の機関がサイバー攻撃を受けて個人情報流出したとの報道ですが、4月ごろ見た韓国ドラマ「ファントム」を思い出します。



<つぶやき> 6月9日

写真は安東河回村の樹齢 600 年を超える樺の木で村の中央に位置し村の御神木。

安東は朝鮮時代に多くの名門が住んでいた。中でも安東河回村な豊山柳氏が
600 年間代々暮らしてきた韓国の代表的な同姓村である。

従い、あちこちの家で法事も多かった。しかし内陸に位置するため
海草などなく代わりに長持ちする塩サバ(자반 고등어
チャーバンコドゥンオ)を法事のお供えにあげる習わしとのこと。

これはこの地方独特のものだと。
また両班ではなく一般市民も法事ではないのに
わざと「うその法事のごはん」(헛제사밥 ホツチェサパプ)を
作って食べて喜びを分かち合ったと。(ガイドさんから)



<つぶやき> 6月10日

今日はこれからハングル大好き会の会話に出かけてきます。

それにしても MERS 収まりませんね。私の旅行がもし1週間ずれてたら
キャンセルになっていたでしょう。ラッキーでした。(帰国前ソウルで MERS
が病院で発生のニュース聞きましたが、帰国後 10 日経っても発病してないし)



<つぶやき> 6月11日

ある時ミニプルゴギつきサムパブ定食というのが出たんですが、包む葉として、生の白菜とチンゲン菜が、逆にキャベツは茹でてありました。皆が「日本とは逆だね」でした。



<つぶやき> 6月12日

写真は帰りの仁川空港で偶然出会わせた古式豊かな一行のイベントです。

我々のツアーに3日間同行してくれた現地ガイドさんの話ですがこの処の

日韓関係の悪化で日本からの観光客がかなり減っていて日本人むけの現地の
中小の観光会社が去年6社ほど倒産閉鎖したと言っていました。
「幸い自分が勤める JTB は大きいから大丈夫ですけど」と。

確かに今回のツアーも定員20人まででしたが、たったの4人での催行
でしたから影響はありますね。
このところMERSの影響で中国や香港からの観光客のキャンセルが
増えている韓国。経済的打撃も大きいです。

以上